様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

舞鶴公園･六本松周辺地区
（地方都市リノベーション事業）

平成27年3月

福岡県福岡市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	舞鶴公園・六本松地区（地方都市リノベーション事業）		面積	905ha
交付期間	平成22年度～26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	969百万円	国費率	0.443	

			事業名		
1）事業の実施状況	当初計画に位置づけ，実施した事業	基幹事業	○道路（千代今宿線，博多駅草ヶ江線，南公園567号線） ○公園（舞鶴公園） ○地域生活基盤施設（河川水位監視・観測システム整備事業，観光案内・説明板の整備） ○高質空間形成施設（観光ルートのバリアフリー化等，観光利便施設，地下鉄駅トイレバリアフリー化事業）		
		提案事業	○地域創造支援事業（別府公民館EV設置，壁面緑化の実施，鴻臚館跡展示館の展示活用，集客イベントの実施，観光ボランティアの育成支援，観光パンフレットの作成，「さくらまつり」の拡充・開催，桜の植樹・保護育成（さくらの名所化），福岡城・鴻臚館跡活性化事業） ○事業活用調査（事業効果把握調査）		
			事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標，指標，数値目標への影響
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		
		提案事業	○地域創造支援事業 （鴻臚館跡展示館の展示活用，観光ボランティアの育成支援）	事業計画見直しのため	観光客の利便性向上を図る事業であり，指標への影響は間接的なものに留まるため，指標および数値目標は据え置く。
	新たに追加した事業	基幹事業	○道路（堅粕西新2号線(城内)）	歩行者の回遊性の向上と自転車走行空間の確保を図るため追加	各指標への影響は間接的ものであるため，指標および数値目標は据え置く。
			○道路（大濠東油山線(六本松)）	交通安全性の向上を図るため追加	各指標への影響は間接的ものであるため，指標および数値目標は据え置く。
			○道路（市道六本松1108号線）	交通の円滑化を図り，安全安心のまちづくりを推進するため追加	各指標への影響は間接的ものであるため，指標および数値目標は据え置く。
			○道路（堅粕西新2号線(六本松)）	歩道と自転車道の分離，及び段差解消を行い道路利用者の安全の確保を図るため追加	各指標への影響は間接的ものであるため，指標および数値目標は据え置く。
			○既存建造物活用事業（福岡市博物館）	都市機能の向上と施設利用者の増加を図るとともに，地区の回遊性を向上させ，にぎわいのあるまちづくりを推進するため追加	各指標への影響は間接的ものであるため，指標および数値目標は据え置く。
		提案事業	○地域創造支援事業（地下鉄駅ナンバリング事業）	観光客に対し，わかりやすさを向上させ，地下鉄の利用を促すことで回遊性の向上を図り，にぎわいのあるまちづくりを推進するために追加	各指標への影響は間接的ものであるため，指標および数値目標は据え置く。
			○地域創造支援事業（駅照明設備等の省エネルギー化事業）	省エネルギー化を図り，ヒートアイランド現象の抑制などに貢献し，環境と共生する都市の実現のために追加	各指標への影響は間接的ものであるため，指標および数値目標は据え置く。
			○地域創造支援事業地下鉄駅券売機4カ国語化事業）	海外からの観光客に対し，わかりやすさと安心感を向上させ，地下鉄の利用を促すことで回遊性の向上を図り，にぎわいのある交流拠点を推進するために追加	各指標への影響は間接的ものであるため，指標および数値目標は据え置く。
	交付期間の変更	当　初	平成22年度～26年度	交付期間の変更による事業，指標，数値目標への影響	
		変　更	なし		

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	地下鉄駅の乗客数	人/日	23,414	H21	23,800	H26		30,467	○	あり なし	— —	九大六本松キャンパス移転の影響を受けながらも，対象地区内の居住人口や通勤・通学者の増加とともに，整備計画に基づく事業の実施により，舞鶴公園を中心とした観光拠点の魅力や回遊環境の向上が図られ，地域への来訪者が増加したことで，目標値を上回った。	平成27年4月下旬～5月上旬
	指標2	居住人口	人	80,141	H21	82,500	H26		86,379	○	あり なし	— —	全市的な人口増加が続く中，整備計画に基づく歩行空間の整備やバリアフリーなどの事業による居住環境としての魅力の向上により，市全体や区全体よりも高い人口増加率を維持し，目標値の達成につながった。	平成27年4月下旬～5月上旬
	指標3	文化施設の利用者数	人/年	847,554	H20	925,000	H26		1,008,732	○	あり なし	— —	観光ルートや案内板・説明板の整備による回遊促進や，集客イベントの実施，広報の拡充事業等による地域への来訪者の増加に加え，動植物園はリニューアルによって施設の魅力が大きく向上し，目標値を上回った。	平成27年4月下旬～5月上旬

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	なし											

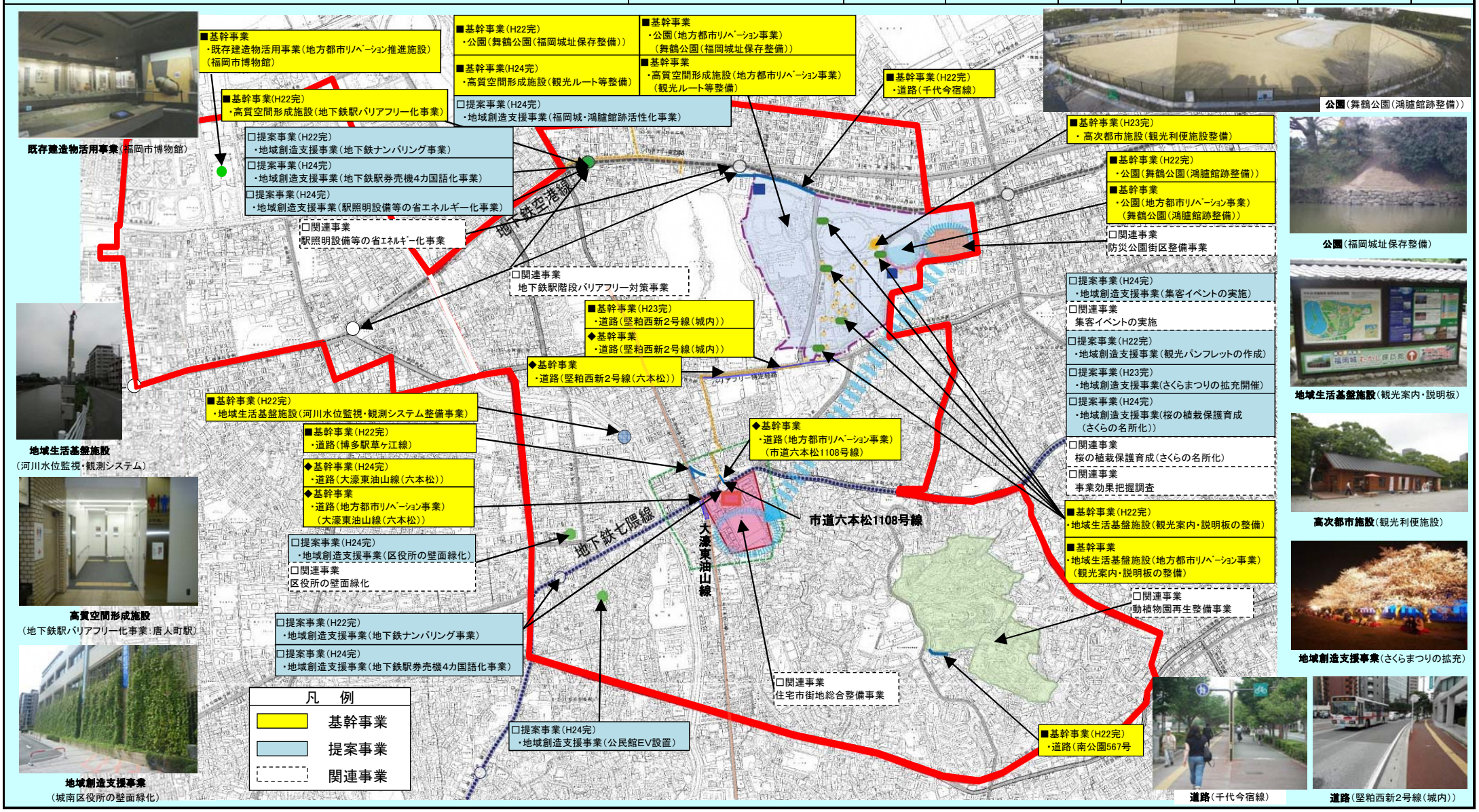
4）定性的な効果発現状況	
	・樋井川に河川監視カメラ・水位計が整備されたことなどにより，適切なタイミングで避難勧告等を発令することで迅速な避難が可能になるなど，地域の防災性が向上している。 ・別府公民館のエレベーター設置や唐人町駅のトイレのバリアフリー化により，高齢者や身体障がい者など誰もが利用しやすく，住みやすい環境が向上している。 ・花見や憩いの場として利用されていた舞鶴公園においては，福岡城・鴻臚館跡活性化事業の実施などにより，歴史・文化的な観光地としての魅力も向上している。 ・観光ルート等の整備や集客イベントの実施などにより，舞鶴公園や福岡城跡の観光地としての魅力が向上することで，周辺地域への活性化にも影響を与えている。 ・城南区役所での壁面緑化を見本として各公民館が壁面緑化を実施し，今後は地域への波及が期待されるなど，市民の環境意識向上に向けて先導役となっている。

5）実施過程の評価		実施内容	実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	—	都市再生整備計画に記載し，実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが，実施した 都市再生整備計画に記載したが，実施できなかった		—
	住民参加プロセス	—	都市再生整備計画に記載し，実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが，実施した 都市再生整備計画に記載したが，実施できなかった		—
	持続的なまちづくり体制の構築	—	都市再生整備計画に記載し，実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが，実施した 都市再生整備計画に記載したが，実施できなかった		—

様式２－２　地区の概要

舞鶴公園・六本松地区（福岡県福岡市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標　歴史・文化・緑をつなぎ、風格ある都市環境の創造 目標１　にぎわいのあるまちづくりの推進 目標２　安全安心して暮らせるまちづくりの推進	地下鉄駅の乗客数	単位：人／日	23,414	H21	23,800	H26	30,467	H26
	居住人口	単位：人	80,141	H21	82,500	H26	86,379	H26
	文化施設の利用者数	単位：人／年	847,554	H20	925,000	H26	1,008,732	H26



まちの課題の変化	・対象地区内の居住人口や通勤・通学者の増加に加え、動植物園のリニューアルや福岡城・鴻臚館跡活性化事業、舞鶴公園でのイベントや広報の充実など既存資源の活用により、地域の魅力向上が図られ、地下鉄駅の乗客数や文化施設の利用者数は増加している。今後はさらに，九大六本松キャンパス跡地を活用した拠点形成を引き続き推進していく必要があり，九大六本松キャンパス跡地に形成される新たな拠点と連携しながら、地域への来訪者数の拡大や地域内の回遊促進を図り、賑わいのあるまちづくりを進めていく必要がある。 ・全市的な人口増加が続く中、歩行空間の整備や防災機能の強化、バリアフリーなどの事業による居住環境としての魅力の向上により、市全体や区全体よりも高い人口増加率を維持している。しかし、地区内には歩道の整備が不十分な箇所が残されており、引き続き改良を進め、安全・安心な居住環境の向上を図っていく必要がある。加えて、地域コミュニティの活性化を図り、市民相互が支え合う安心して快適に暮らせる環境づくりを進めていく必要がある。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	●既存資源の活用と大学跡地などにおける拠点性向上による、魅力あるまちづくり ・九大六本松キャンパス跡地を活用した拠点づくりを推進する。 ・地域の魅力向上に向けた歴史遺産・文化施設の有効活用を推進する。 ●誰もが安全・安心で快適に暮らせる環境整備 ・すべての人が安全・快適に移動ができ、災害時には避難経路として役割を果たす高質な歩行者空間の拡充を進めていく。 ・地域コミュニティの活性化につながる公民館などを活用した活動の場づくりを推進する。 ・環境に配慮したまちづくりに向けて、公共施設の省エネルギー化を推進する。